

施設整備事業（排水処理型ごみ処理）

秦食品株式会社

事業目的	当社は生ごみを主体とする産業廃棄物を年間 1,200 トン余り排出し、多量排出事業者に相当するため排水処理型のごみ処理機を導入して生ごみを分解・発酵して年間 300 トンを減量（排出抑制）し、併せて廃棄費用を削減する。
事業概要	分解・発酵型のごみ処理機により芋皮・野菜屑等の生ごみを処理し、今まで外部の産業廃棄物処理業者に委託していた処理を減らす。現在芋皮を発生場所から生ごみ処理機に配管輸送し分解・発酵後発生する排水と排水残渣を既設の排水処理施設で処理し有機汚泥（発生芋皮の 1%）として処分（有機肥料）している。
事業結果	2021 年 3 月よりごみ処理機を稼働し 25 トン/月（年間 305 トン）の産業廃棄物を減量する計画に対して 2022 年度は 296 トンを減量した。外部処理委託費用を 1,180 万円程(2022 年度)削減した。
今後の課題と方針	今後も事業の拡大に向け生ごみの発生が増大する見込であるが発生の抑制や堆肥処理型のごみ処理機を順次増設して生ごみ 600 トン/年を減量・有価化見込である。さらに有機汚泥の乾燥・減量装置を 2023 年 3 月より稼働しており 2023 年度は年間 1,000 トン前後を処理し堆肥原料として有価化の見込である。